

# 8 理科 知識の整理

やった分だけ合格が近くなる！

流水の作用と地層

1 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

流れる水の働きには土地をけずる①( )作用、けずった土砂を運ぶ②( )作用、そして、運んだ土砂を積もらせる③( )作用の3つがあります。この作用によって作られる地形としては、川の上流に作られる深い谷の④( )、山から平野に出るところに作られる⑤( )、川の中流から下流にかけて、川が曲がりくねる⑥( )の結果作られる⑦( )や、河口に作られる三角形の土地の⑧( )などがあります。

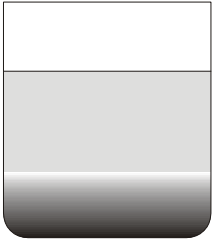
- |   |      |   |     |   |         |
|---|------|---|-----|---|---------|
| ① | しん食  | ② | 運搬  | ③ | 堆(たい)積  |
| ④ | V字谷  | ⑤ | 扇状地 | ⑥ | 蛇行(だこう) |
| ⑦ | 三日月湖 | ⑧ | 三角州 |   |         |

2 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

川の曲がっている部分では、曲がりの内側より外側の方の流れが①( )く、そのため、曲がりの外側の岸は②( )になっていることが多く、反対に、流れの内側の岸には③( )が広がっています。また、川の深さは、川の曲がっているところの外側に近いところが、④( )くなっています。川底を作っている小石や砂の粒の大きさは、川の曲がっているところの内側の方が⑤( )なくなっています。これは、川の内側の方では、流水の三作用のうちの⑥( )作用が強く、川の外側の方では、流水の三作用のうちの、⑦( )作用が強く働くために起こります。この作用が働き続けると、この川の曲がり⑧( )なくなっていくます。そして、曲がり⑧なくなったときに、洪水が起こると⑨( )と呼ばれる湖ができることがあります。

- |   |     |   |        |   |      |
|---|-----|---|--------|---|------|
| ① | はや  | ② | がけ     | ③ | 河原   |
| ④ | 深   | ⑤ | 小さ     | ⑥ | たい積  |
| ⑦ | しん食 | ⑧ | 大きく・強く | ⑨ | 三日月湖 |

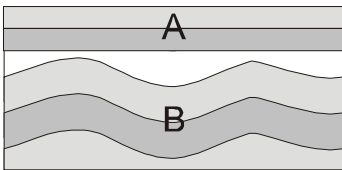
3 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



どろ水を左の図のように、ビーカーに入れてしばらく置くと、粒の①( )なものが先に沈んでいきました。このようなことが川から洪水のたびに流れ込む土砂によって海底でも起こっています。このようなことが何回も起こると、②( )と呼ばれるしまようが作られます。洪水のたびに、同じ場所で連続して作られた②の上下の層の関係を③( )といいます。これに対して、大きな大地の動き、すなわち④( )によって②が地上に出て、⑤( )を受けて、その後再び②が積み上がっていく場合④の前の②と、そのあとにできた②の間には連続性が失われているので、2つの②には⑥( )の関係があるといいます。

- |   |          |   |     |   |     |
|---|----------|---|-----|---|-----|
| ① | 大き       | ② | 地層  | ③ | 整合  |
| ④ | 地殻(かく)変動 | ⑤ | しん食 | ⑥ | 不整合 |

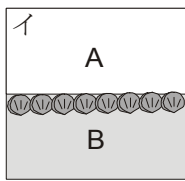
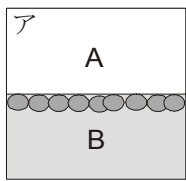
4 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



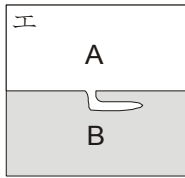
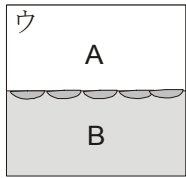
左の図で、AとBの2つの層があります。この層のそれぞれは、順に積み重なっていて、この関係を①( )と呼んでいます。しかしAとBを見たとき、この層の間には連続性が失われていることがわかります。AとBの層のでき方を考えると、はじめに②( )の層が③( )の中でできて、それが、④( )変動を受けて、陸上に出て⑤( )を受けてその後、再び海中に沈み、そこで新たに、⑥( )の層が作られることで、アの⑦( )と呼ばれる境界面が作られます。Bの地層には大きな力を受けた跡があります。この跡は⑧( )と呼ばれるものです。これはゆっくりと力を受けた跡です。力が短時間に、力の効果が表れると、⑨( )と呼ばれるものが作られます。⑨には左右から押される力のために作られた⑩( )と左右へ引きちぎる力を受けた⑩( )があります。

- |   |         |   |      |   |      |
|---|---------|---|------|---|------|
| ① | 整合      | ② | B    | ③ | 水(海) |
| ④ | 地殻(ちかく) | ⑤ | しん食  | ⑥ | A    |
| ⑦ | 不整合面    | ⑧ | しゅう曲 | ⑨ | 断層   |
| ⑩ | 逆断層     | ⑪ | 正断層  |   |      |

5 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



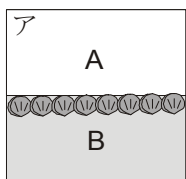
アの図ではBの層のAに接している側に、粒の大きなものが集まっています。このことからAとBの層のうち古いのは①( )です。イの図でBの層のAに接している側に、二枚貝の貝殻がそろっているものがあります。このことからAとBの層のうち古いのは②( )です。ウの図では、B



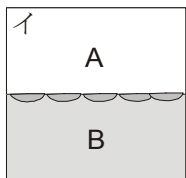
の層のAに接しているところに、ばらばらになった二枚貝がAの側に、身が入っていた部分に向けてありますから、AとBの層のうち古いのは③( )になります。エの図では、Bの層の中に、Aが入っているのが見られます。このことからAとBの層のうち古いのは④( )になります。

- ①       ②       ③
- ④

6 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



図Aは2枚の貝殻がそろった二枚貝の①( )が見られる地層です。この図で、この二枚貝がアサリやハマグリであればこのAの地層がつもったのは②( )であることがわかります。このように地層ができたときの環境がわかるものを①の中でも特に③( )と呼んでいます。この二枚貝はその場所で生活していることがわかりますが、同じ二枚貝の①でも図イのように2枚の貝殻が別れ別れになっている場合は、どのような場所で積



ったか判然としないこととなります。この図では、Aの地層の上に貝殻を含むBの地層ができたと考えられます。ですから、アの図で先に積もった地層は④( )で、イの図で先に積もった地層は⑤( )であることがわかります。

- ①       ②       ③
- ④       ⑤

7 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

その地層ができた年代の手がかりになるものとしては化石の中で①( )と呼ばれるものがあります。たとえば、地層の中から三葉虫が見つければ②( )にその地層がつもったことがわかります。同様に、アンモナイトが見つければ、その地層は③( )に地層がつもったことがわかります。

- ①       ②       ③

8 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

図 1

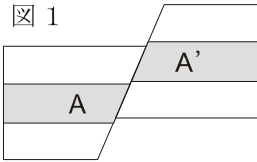
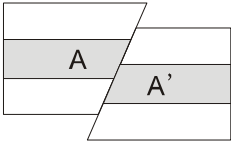


図 2



左の図1では、水平につながっていた地層が①( )によって分断されている様子を示しています。このように地層が切られるには、左右へ引きちぎる力や左右から押される力が働く時です。図1では左右②( )力が働いている様子を示しています。このような①を③( )と呼んでいます。また、図2では力は左右④( )力が働いている様子を示しています。このような①を⑤( )と呼んでいます。このような①ができるときには、多くの場合⑥( )を伴います。このように動くおそれのある①を⑦( )といい、原子力発電所など⑥の被害があつては困る施設のまわりでは、綿密な⑦の調査が行われています。

- |   |                                     |   |                                     |   |                                  |
|---|-------------------------------------|---|-------------------------------------|---|----------------------------------|
| ① | <input type="text" value="断層"/>     | ② | <input type="text" value="へ引きちぎる"/> | ③ | <input type="text" value="正断層"/> |
| ④ | <input type="text" value="から押される"/> | ⑤ | <input type="text" value="逆断層"/>    | ⑥ | <input type="text" value="地震"/>  |
| ⑦ | <input type="text" value="活断層"/>    |   |                                     |   |                                  |

9 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

流水の三作用によって作られる地形には山から平野に出るところに作られることがある、①( )という地形があります。この地形を作っている堆積物は多くの場合、粒の大きさが2mm以上の②( )や、これより小さく $\frac{1}{16}$ 程度の大きさの③( )と呼ばれるものから成り立っています。そのためこのような場所では④( )がよすぎるため、水田を作ることは困難です。そのため、多くは $\circ^{\circ}$ の地図記号で示される⑤( )が多く見受けられます。この地形の上流に $\frac{1}{16}$ mmより粒の小さな⑥( )が出る場所があれば、⑥を水に溶かし、灌漑用水へ送ることで水田開発が可能になります。このような流水の作用を利用した土砂の移送を⑦( )と呼んでいます。

- |   |                                   |   |                                  |   |                                    |
|---|-----------------------------------|---|----------------------------------|---|------------------------------------|
| ① | <input type="text" value="扇状地"/>  | ② | <input type="text" value="れき"/>  | ③ | <input type="text" value="砂"/>     |
| ④ | <input type="text" value="水はけ"/>  | ⑤ | <input type="text" value="果樹園"/> | ⑥ | <input type="text" value="粘土・どろ"/> |
| ⑦ | <input type="text" value="流水客土"/> |   |                                  |   |                                    |

10 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

地層は一般に流水の作用を受けてできます。流水の作用を受けてできた地層を作っているものの粒は角が①( )て②( )くなっています。また、粒の大きさが③( )っているという特徴があります。しかし、流水の作用を受けることなく堆積するものもあります。それは④( )です。この④は⑤( )の活動によって生み出されます。日本の上空では⑥( )と呼ばれる⑦( )風が吹いているため、⑤の⑧( )側に、④が飛ばされている場合が多いと考えられます。④は広い範囲に⑨( )に積もるため、地層のつながりを知る大きな手掛かりとなります。

- |   |     |   |    |   |     |
|---|-----|---|----|---|-----|
| ① | とれ  | ② | 丸  | ③ | そろ  |
| ④ | 火山灰 | ⑤ | 火山 | ⑥ | 偏西風 |
| ⑦ | 西   | ⑧ | 東  | ⑨ | 同時  |

11 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

地層を作っているものが長い年月の強い圧力や、その成分によって固結したものを①( )と呼んでいます。この①は作っている粒の大きさが2mm以上の大きさの粒をふくむ②( )、これより小さく $\frac{1}{16}$ mm程度までの③( )、これより小さな粒からなる④( )に分けられます。このほかに、フズリナやサンゴをふくむ⑤( )や、放散虫の固い殻から成り立つ⑥( )や⑦( )の活動によって出された⑧( )が固まってできた⑨( )などがあります。⑨は流水の作用を受けていないので、その粒の形に特徴があります。しかし、⑩( )による運搬作用は受けるので、粒の大きさはそろっています。

- |   |         |   |     |   |      |
|---|---------|---|-----|---|------|
| ① | 堆(たい)積岩 | ② | れき岩 | ③ | 砂岩   |
| ④ | 泥(でい)岩  | ⑤ | 石灰岩 | ⑥ | チャート |
| ⑦ | 火山      | ⑧ | 火山灰 | ⑨ | 凝灰岩  |
| ⑩ | 風・空気の動き |   |     |   |      |